

# Curation Course

## キュレーションコース

このコースは、キュレーターを目指す人のための1年間コースで、社会的・文化的なコンテキストの中で、コンテンポラリーアートのキュレーションとは何かを考え、その可能性を探ります。コースでは、受講者とティーチングスタッフ間でのディスカッションやプレゼンテーション、スライドトークが中心に行われるほか、実際にコンテンポラリーアートやその他の分野で活躍する専門家をゲストレクチャーとして迎え、具体的な事例をもとに講義を行います。また、コンテンポラリーアートを理論的に考えるために鍵となるテキストを読み、キュレーションをより広い文脈の中で捉え、発展させることを試みます。ディスカッションの内容により、資料として参考となるテキストを配布し、一部に英語の専門用語を使ったクラスも行われます。

### <2002年度の春期プログラム内容>

1. 物質文化とディスプレイ<もの見せ方>
2. 17世紀以降の展覧会の歴史から空間と権力の問題を探る
3. ポストモダンとは？：専門用語と基礎理論
4. Cファイル：20世紀に行われた極端で刺激的な展覧会を概観する
5. エッセイの書き方
6. プロジェクト企画や研究

### <2002年度の主なゲストレクチャー>

(敬称略)

内田真由美

片岡真実 (東京オペラシティ・アート・ギャラリー・キュレーター)

神谷幸江 (インディペンデントキュレーター)

南條史生 (森アートミュージアム副館長)

平野到 (埼玉県立近代美術館学芸員)

山下裕二 (明治学院大学文学部芸術学科教授)

山本豊津 (東京画廊代表取締役)

美術史、理論、批評やディスカッションに基づいた独自のプログラムを提供。MAD ティーチングスタッフとゲスト講師による実践的な講義。

## 概要とコース料金 (2002年度)

### ■キュレーションコース (1年間)

受講料 150,000円+施設利用費 15,000円 +  
入学手続き費 2,000円 合計 167,000円 (税別)

### ■アーティストコース (3ヶ月)

受講料 33,000円+入学手続き費 2,000円  
合計 35,000円 (税別)

### ■オーディエンスコース (7ヶ月)

受講料 65,000円+入学手続き費 2,000円  
合計 67,000円 (税別)

### ■マガジンコース (6週間)

受講料 33,000円+入学手続き費 2,000円  
合計 35,000円 (税別)

### ■設備

ビデオプロジェクター  
スライドプロジェクター  
TVモニター  
VHSビデオデッキ (Pal/NTCS)  
DVDプレーヤー (Pal/NTCS)  
Boseステレオ  
ホワイトボード  
コーヒーマーカー

### ■ライブラリー

受講者は、MADにある展覧会カタログ、国際展、モノグラフなどを利用することができます。

### ■講師— ロジャー・マクドナルド、小沢慶介

### ■運営スタッフ— 小沢有子

### ■連絡先

NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ  
150-0033 渋谷区猿楽町 30-8 ツインビル代官山 B-103  
tel : 03-5489-7277 fax : 03-3780-0753  
e-mail: [office@a-i-t.net](mailto:office@a-i-t.net) <http://www.a-i-t.net>



## MAD making art different 2002

## Curation Artists Audience Magazine



キュレーション、オーディエンス、  
アーティスト、マガジンの  
4コースを開講中  
東京で初めての本格的な  
コンテンポラリーアートの教育プログラム

# Artist Course

## アーティストコース

このコースは、アーティストのための3ヶ月集中コースです。アーティストが、国内外で自分の作品のプレゼンテーションを積極的に行うために、世界のアート界の枠組みの中で自らの作品を再認識することを目的とします。例えば、スタッフの経験に基づいた実践的なポートフォリオの作成に関するアドバイスを行うほか、最近の展覧会やその傾向、アート界の仕組み、基礎的な美術理論や基礎用語の解説を行います。本コースは、スタジオなどで作品制作ではなく、自らの作品について、また、アートとは何かについて考えることに重点をおくプログラムで、春期、秋期、冬期の年3回、開講されます。

### <2002年の春期プログラム>

1. アーティスト・ステートメントの作成と作品のプレゼンテーション：実践的なポートフォリオの作成のアドバイス
2. ポストモダンの基礎
3. 美術の専門基礎用語
4. 現在のコンテンポラリーアートへのアプローチと傾向をみる
5. マッピング・アート・シーン（アート界の仕組み）
6. 専門家を迎えての各自プレゼンテーション

### <2002年度のゲスト>

最終講義では、実際に専門家に対するプレゼンテーションを行います。2002年度は以下の3名を招いて行われました。

南條史生（森アートミュージアム副館長）  
辛美沙（ARCUS ディレクター）  
神谷幸江（インディペンデントキュレーター）

# Audience Course

## オーディエンスコース

このコースは、現代美術のことをもっと知りたいという方を対象とする7ヶ月コースで、より入門的なクラスです。キュレーターや評論家、アーティストなどによるスライドレクチャーやトークと、話題のギャラリーや美術館、スペースなどへの訪問で構成され、いずれもそれぞれの場や作品に応じたゲストレクチャーと参加者の対話を中心となります。訪問する場所に応じてメンバー専用の小型バスを活用することで、見学を効率的で快適なものにします。その他、2002年に行われる大規模な国際展の新しい情報も、実際に現地に行った講師が、ヴィジュアルイメージを交えてレポートします。

### <2001年度 主な展覧会訪問先>

- ◇川村記念美術館  
「ゲルハルト・リヒター-アトラス-」展と千葉市美術館「ミニマル・マキシマル」展  
リヒターに詳しい美術評論家、市原研太郎氏が同行し、リヒターやミニマルズムについて解説。
- ◇川崎市岡本太郎美術館  
「日本発見 岡本太郎と戦後の写真」展  
写真評論家、飯沢耕太郎氏が同行し、戦後の日本の写真について解説。
- ◇「横浜トリエンナーレ 2001」  
アーティストック・ディレクター、南條史生氏が同行し、トリエンナーレの概要説明や作家・作品の解説。
- ◇東京のオルタナティブスペース  
コマンドN、現代美術製作所  
現代美術製作所主宰、曾我高明氏によるオルタナティブスペースについてのミニレクチャー。
- ◇佐賀町、茅場町の4ギャラリーと東京オペラシティ  
アートギャラリー「エゴファーガル-イスタンプール・ビエンナーレ東京」展  
担当キュレーターによるミニレクチャー。
- ◇大林組東京本社コーポレートアートプロジェクト  
日本で本格的なコーポレートアート。通常、一般には非公開のアートワーク見学とプロジェクト担当者による解説。

# Magazine Course

## マガジncourse

このコースは、アーティスト、キュレーター、オーディエンス、コレクター、学生を対象としています。欧米やアジア諸国では、コンテンポラリーアートの専門雑誌が数多く出版されています。それらの誌上では、コンテンポラリーアートを考える際に有効な「評論」や「批評」が行われ、それを通じて様々な理論付けの作業が行われています。大規模な国際展の開催直後には、展覧会の内容紹介のほか、その分析や批評が積極的に行われます。ロンドン、ニューヨーク、ベルリン、アムステルダム、チューリッヒなどで開催された注目の展覧会は、若手作家から大御所までが「レビュー」としてすぐに紹介されます。毎月発行されているコンテンポラリーアートの専門雑誌の記事を取り上げ、グループディスカッションや頻繁に使われる用語の解説などを行いながら、世界のアートの動きをつかみます。

### <参照するアート雑誌例>

Art Forum, Frieze, Art Monthly, Parkett, Tate Britain  
Art in America, Art News Paper, など

### <2002年度 参照した記事>

Documenta 11 reviews from *Art Forum*.  
The opening of MOMA Queens in *Art Forum*.  
The selling off of art in post-bubble Japan in *Newsweek*.  
An in-depth essay on the work of Verne Dawson in *frieze*.  
An interview with Neil MacGregor in *The Art Newspaper*.  
The opening of contemporary art in Iran in *The Art Newspaper*.

